

飲水思源

町長

松岡市郎

前例踏襲「あつ！と驚く常識(?)」

「オオカミが来た！」などと人を騙(だま)すことは悪いこと、と教えられた。今の世の中、子供騙しのような話が大人の世界にまかり通っているから不思議である。どんな話か？というところ。

ある大会社の社長が各支店の職員に対して「この仕事をすれば会社が定める特別手当を支払います」と約束をした。支店の職員の中には「また社長が嘘(げき)を飛ばしているが、一生懸命頑張ってもボーナスで調整される」「職員間の給料総額には順番が付いており、いくら頑張っても順位はほとんど変わらない」と冷やかに受け止めている者もいる。

しかし「社長の言うことだから」と信頼して「一生懸命になって家族の暮らしを良くしよう」と頑張った職員がいた。確かに毎月の給料に特別手当が上積みになり、家族もニコニコ。「頑張って良かった」と感謝していた。

ところが12月のボーナスを見て愕然(がくぜん)とした。特別手当を受けていなかった同僚と比較し、当該手当相当額がボーナスから控除されていたからである。

「12月のボーナス評価はどうして低いのですか」と上司に話に行ったら「これ

は上がやっていることでまったく分からない」という。そこで支店の給与課長に「どうしてこのようなことに？」と問いただした。

「今までの貯金もあるでしょ」「家族がパート収入を得ているし」「給料は総額でバランスをとるもの」「営業成績も良くない」などと訳の分からない説明である。

だったら12月分のボーナスをすべて一律カットすれば良いのでは。こんなことで頑張った職員は納得するだろうか？しかしだれ一人として不服を言わない。本社に意見申すことは禁句なのか、それとも働き以上の手当をもらっているのか…。笑い話のような話である。

これはフィクションであるが、行政の中ではこのような話が「常識(?)」となって定着しているようだ。前例を踏襲しているからである。

都道府県では人事異動で担当者が変わるが、「前例踏襲型」から脱皮する志の高い職員が「衡平や公正」の視点から変革してくれることに期待を寄せたい。大人の世界でも騙しがあつてはいけない。子供騙しのようなことで納得する首長はいない。

文化交流館 新刊図書・ビデオ案内

★本、DVDの蔵書リクエストをお受けしています

貸し出し期間は、図書は1人5冊まで14日間、ビデオは1人2本まで4日間です。返却期間を守りましょう(夜間返却窓口もご利用ください)。



うさぎドロップ
(映画、DVD)
ハピネット

ごく普通のサラリーマンであるダイキチが亡くなったおじいちゃんのお葬式で出会ったのは、おじいちゃんの隠し子・鹿賀りだった。他の親族に疎まれ、引き取り手のないりんを、男気を見せて連れ帰ったダイキチ。慣れない子育てにあたふたしつつも、底なしの優しさで包みこむダイキチにりんも心を開いていく。やがて二人は本当の家族のような愛情と絆で結ばれていく。(114分)



シンダールネビ竜と魔法の実
(児童書)
著／富安 陽子 刊／偕成社

一見普通の信田(シノダ)家には、誰にも知られてはならない重大な秘密があります。それは、ママの正体が実はキツネだということ。人間のパパとキツネのママ。そして二人の血をひく三人の子どもたち。そんな信田家にある日、小さな竜が迷い込みました。お風呂場に住みつき、三日に一度雨を降らせては、どんどん大きくなっていくのです。一家はなんとかしてネビ竜を空へ帰そうとしますが…。



くちびるに歌を
(一般書)
著／中田 永一 刊／小学館

中学の臨時教員・柏木は1年間の期限付きで合唱部の指導依頼を受ける。合唱部の女子は夏のNHK全国学校音楽コンクールに女子のみでのエントリーを強く望むが、柏木は男子との混声で出場することを決めてしまう。そんな彼らに課題曲「手紙～拝啓十五の君へ」にちなみ、15年後の自分に向けて書かせた手紙には、誰にも話せない等身大の秘密が書かれていた。切なくピュアな青春小説。